

「サステナビリティレポート2008」の概要（掲載項目順）

1. トップコミットメント（4～5頁）

災害に強く安全・安心な原子力発電所を構築するとともに、環境負荷の少ない電気を、安全に安定的にお届けするという当社の最も重要な社会的責任について、清水正孝新社長のメッセージを掲載しております。
2. 新潟県中越沖地震による影響と東京電力グループの取り組みについて（6～11頁）

平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による影響と、それに対する東京電力グループの取り組みについて、柏崎刈羽原子力発電所の復旧状況、耐震安全性向上への取り組みなどを中心にご報告しております。
3. 安定供給編『安定供給への取り組み』（14～17頁）

「安定性」「環境性」「経済性」のバランスを考慮して電源を組み合わせる「電源のベストミックス」や、昨年8月の需給逼迫状況をご説明しながら夏期ピーク時における供給力確保への取り組みについてご報告しております。
4. 経営編『サステナビリティの実現に向けて』（18～29頁）

東京電力グループが社会的責任を果たす上で核となる「経営理念」や「CSR方針」などについてご説明するとともに、それを実践していくためのマネジメント体制などについてご報告しております。
5. 環境編『東京電力グループの環境への取り組み』（30～53頁）

読者の皆さまからの関心が高い「地球温暖化対策」を中心に、当社の環境への取り組みを発電と消費の両面からご報告しております。また、近年、ステークホルダーの皆さまからの期待が高まっている再生可能エネルギーについては、特集「東京電力グループの再生可能エネルギーへの取り組み」としてご報告しております。
6. 社会編『東京電力グループと社会との関わり』（54～69頁）

お客さまや地域社会の皆さまをはじめとした当社を取り巻く方々との関わりについて、具体的なコミュニケーション活動を掲載しています。また、特集では、当社がこれまで培った電気事業のノウハウを活かした社会貢献活動として、「海外コンサルティング事業」についてご報告しております。
7. 原子力編『東京電力と原子力発電』（70～75頁）

原子力発電設備のデータ改ざん等に対する再発防止の取り組みをはじめ、原子力発電所における情報公開や原子燃料サイクルの確立に向けた取り組みなど、原子力に関わるトピックスを中心にご報告しております。
8. 第三者意見（76～77頁）

社外有識者により構成される「東京電力環境顧問会」から、当社の地球温暖化対策やサステナビリティへの取り組みについていただいたご意見と、当社の回答を紹介しております。

以上